

学習指導要領		昭和高校 学カスタンダード
A 話 す こ と ・ 聞 く こ と	ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。	<p>幅広く調べた内容を検討して自分の考えをもち、客観的な根拠に基づいて論理的に話すことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白馬移動教室での講演を聞き、その内容を的確に理解することができる。</li> <li>・社会問題などについて、調べたり取材したりした内容を様々な角度から検討して、自分の考えをもつことができる。</li> <li>・多角的な視点から、論拠に基づいて自分の考えを話すことができる。</li> </ul>
	イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。	<p>目的や場に応じて、資料や機器などを適切に活用して、分かりやすく工夫した言葉遣いで話したり、主題を押さえて聞き取ったりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告や発表などで、何のために誰に向かって話すのかを考えて、必要に応じて資料や機器などを使ったり、効果的に伝わるように言葉を選んで話したりすることができる。</li> </ul>
	ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の立場を理解し、相手の考えを生かしながら自分の考えを説明し、司会者や提案者などの役割に応じて円滑に話し合うことができる。</li> </ul> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループやクラスの討議などで、相手と自分の考えの共通点や相違点を整理し、適切に質問することができる。</li> <li>・司会者や提案者などの役割に応じて、話し合いが効果的に展開するように、話の構成や展開、言葉遣いなどを工夫して話すことができる。</li> <li>・状況に応じて、これまでの経緯を振り返ったり、これからの展望を考えたりすることができる。</li> </ul>
	エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	<p>自己評価や相互評価を自分の話し方や言葉遣いに生かし、話し手の多様な思いや考えに触れ、その意義や価値に気付き、自身の考えを広げ、深めることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的、場に応じた用語や引例、態度、論</li> </ul>

学習指導要領		昭和高校 学カスタンダード
B 書 く こ と	ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。	<p>の構成などを考え、実行することができる。</p> <p>目的に応じた題材や文章の形態を選び、それにふさわしい文体、語句を工夫して書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて題材を選び、自分自身の体験や考えたことに加え、読書や調査および観察などで得られた材料を選択することができる。</li> <li>・文章の形態や文体を考え、語句や言い回しを工夫して書くことができる。</li> </ul>
	イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。	<p>論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを説得力のある文章にまとめることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「序論—本論—結論」、「現状認識—問題提起—解決—結論—展望」、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の組み立てや進め方を取り入れて、与えられた条件に応じた文章を書くことができる。</li> <li>・資料などを用いて、多角的な視点から論拠に基づいて、自分の考えをまとめることができる。</li> </ul>
	ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。	<p>説明や描写を効果的に使い分けるなど、相手や目的、場に応じた適切な表現の仕方を考えて書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白馬移動教室での講演を聞き、それに対する自分の感想をわかりやすく書くことができる。</li> <li>・事実や事柄などを正確に説明したり、手順や理由などを論理的かつ的確に説明したりすることができる。</li> <li>・情景や人物、心情などを、表現方法を工夫して、読み手がありありと想像できるように描写することができる。</li> </ul>
	エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	<p>自他の文章への評価を通して、自分の表現を高め、書き手の多様な思いや考えに触れ、その意義や価値に気付くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み手を意識した用語や引例、論の構成・展開</li> </ul>

学習指導要領		昭和高校 学カスタンダード
C 読 む こ と	ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	<p>の着実生や意外性など、良い点・直すべき点を指摘することができる。</p> <p>【現代文】 表現技法や語句の使い方の工夫などに注意し、その効果を考えながら読むことができる。 《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 比喩法を理解し、文章中の比喩とその効果について説明できる。</li><li>・ 文章中のキーワードを指摘し、文章の大筋やテーマを考えながら読み、それを説明できる。</li><li>・ 小説の表現や韻文のリズムを、音読・暗唱・朗読などを通して味わうことができる。</li></ul> <p>【古典】 比較的長く難易度も中程度以上の文章について、文章の形態の違いや特色を理解し、表現技法や語句の使い方の工夫をとらえて読むことができる。 《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 文章の内容や表現技法を踏まえた音読や朗読ができる。</li><li>・ 物語・随筆・日記・和歌などの違いや特質、それぞれの代表的な作品について説明することができる。</li></ul> <p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 文章の内容や句法などの表現技法を踏まえた音読や朗読ができる。</li><li>・ 詩の形態や押韻を指摘し、対句について説明できる。</li></ul>
	イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	<p>【現代文】 文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを的確に読み取り、指定された条件に従って要約したり、詳しく説明・解説したりすることができる。 《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で説明できる。</li><li>・ 指示語や接続詞に着目して論の展開をとらえる</li></ul>

学習指導要領	昭和高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>	<p>ことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張を抜き出して整理し、分かりやすく並べ直したり、指定された条件に従って要約したりすることができる。</li> <li>・文章中の難解な部分について、詳しく説明・解説することができる。</li> </ul> <p><b>【古典】</b></p> <p>様々な文章を、文語のきまりや訓読のきまりに従って、語句や表現に即して読み取り、内容を説明できる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p><b>古文</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用言・助詞・助動詞、敬語の用法、係り結び、和歌の修辞などを理解する。</li> </ul> <p><b>漢文</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訓点・再読文字・置き字・句法について理解する。</li> </ul> <p><b>【現代文】</b></p> <p>登場人物の行動や心情の変化、ものの見方、感じ方・考え方・生き方などを的確にとらえ、人物相互の関係の変容を読み取ることができる。</p> <p>情景描写から心情や物事の起こる予兆などを読み取ることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>芥川龍之介『羅生門』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の言動・心情の変化やその過程を読み取り、理由を説明できる。</li> <li>・比喩表現などから状況や心情をとらえ、その移り変わりを説明できる。</li> </ul> <p><b>【古典】</b></p> <p>様々な文章の情景や登場人物の行動や心情、生き方などを読み取るとともに、情景描写の中にある心情の反映や象徴、物事の予兆としての表現などに気付くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p><b>古文</b></p> <p>『伊勢物語』『芥川』などで</p>

学習指導要領	昭和高校 学カスタンダード
<p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p> <p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面ごとの人物の行動や心情を読み取り、説明できる。</li> <li>・それぞれの和歌に込められた心情を理解し、鑑賞することができる。</li> <li>・男の心情の変化やその過程と理由を説明できる。</li> </ul> <p><b>漢文</b></p> <p>「十八史略」「雑説」などで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人物の行動や心情、場面、時代や場所、状況、出来事、情景などを読み取ることができる。</li> <li>・当時の中国の人々がどのような世界に憧れたかを読み取り、現実との関係を考えることができる。</li> </ul> <p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について、その効果や的確性を根拠を明確にして指摘したり、書き手の主張や目的や手法をとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各段落の働きを理解し、段落相互の関係を的確に読み取ったり、「序論・本論・結論」などの文章の組み立てや、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の型を指摘したりすることができる。</li> <li>・情景や心情の変化をたどり、的確に作品全体の筋をとらえて説明できる。</li> <li>・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法の的確性を根拠を示しながら説明できる。</li> <li>・書き手の主張や意図を読み取り、説明できる。</li> </ul> <p>様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、目的に応じて活用したり、自分の考えを深めたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な形態や幅広い内容・分野の本や文章を、書店や図書館だけでなく、ウェブページなど幅広い方法で入手し、読むことができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り、目的に応じて適切に加工しながら活用することができる。</li> </ul>

学習指導要領		昭和高校 学カスタンダード
<p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p>	<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項                      (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項                      (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読んだ文章を評価することを通して、文章に表れた書き手の多様な思いや考えに触れ、その意義や価値に気付くことができる。</li> </ul> <p>日本の伝統的な言語文化について知り、また外国の文化の影響を理解し、主要な作品への影響を指摘することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 和歌の朗詠・贈答の慣習、三大集（万葉・古今・新古今）、勅撰集、歌物語などについて理解し、個々の文学並びに文学史について調べたり学んだりすることができる。</li> <li>・ 古代の生活様式に触れ、古代人と現代人との感じ方や生き方の相違点と共通点について理解することができる。</li> <li>・ 古典知識や価値観（月の異名、十二支、古時刻・古方位、年中行事、結婚観や宗教観、官位、陰陽道など）について理解する。</li> <li>・ 中国の文字や書物の影響（故事成語、漢詩、史伝・思想など）について理解する。</li> </ul> <p>文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を正確に行うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的仮名遣い、用言の活用（「恨む」「飽く」などを含む）、助詞・助動詞の意味・用法、係り結び、敬語の用法、和歌の修辞などを理解し、文法的に説明したり、本文の読解に役立てることができる。</li> <li>・ 訓点、再読文字、置き字、句法について理解し、訓読したり、書き下し文を参考にして白文に訓点を施したりすることができる。</li> </ul> <p>【現代文】                      「失われた両腕」「名づけと所有」など                      語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて理解し、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役</p>

学習指導要領	昭和高校 学カスタンダード
<p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>	<p>割について認識し、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熟語の構成上の様々な関係について説明できる。</li> <li>・和語、漢語、外来語の区別やそれぞれの語感の違い、具体的な使われ方などを理解し、使い分けることができる。</li> <li>・言語の主要な機能を理解し、それが社会的、歴史的など様々な領域で実現されていることを理解する。</li> </ul> <p>【古典】</p> <p>言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について理解する。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読んだり、表記したりし、その規則性を説明できる。</li> <li>・古今異義語の意味の変遷を理解し、言葉の成り立ちについて考えることができる。</li> </ul> <p>【現代文】</p> <p>文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて理解し、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文の成分を理解し、照応関係や表現効果を意識して文を書くことができる。</li> <li>・様々な文章の段落構成を理解し、また、それを意識して文章を書くことができる。</li> <li>・様々な文章について、語句の意味・用法を理解し、また適切に用いることができる。</li> <li>・説明的文章に使用される語句のうち難解なもの（淘汰、詭弁、パラドックス、ロゴスなど）の意味を理解する。</li> </ul> <p>【古典】</p> <p>古語辞典や漢和辞典を活用し、主要な古語や漢語の意味を理解する。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な文章に出てくる主要な古語（ほど、にほ</li> </ul>

学習指導要領	昭和高校 学カスタンダード
<p>ウ 漢字に関する事項                      (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>ふ、あたらし、なかなかなど) 100 語程度の意味を理解する。                      ・様々な文章に出てくる主要な漢語(寧、如何、与、縦、若など) 50 語程度の意味を理解する。</p> <p>常用漢字の全てを読み、その大体を書くことができ、文や文章の中で使い慣れる。</p>



学修指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p> <p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<p>論理的な文章を読み、文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを的確に読み取り、指定された条件に従って要約したり、詳しく説明・解説したりすることができる。形式段落ごとに内容を正しく把握することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論説や評論において、補足や反証などの関係や段落の構成を的確に捉え、それぞれの働きや関係によってどのような論が展開されているのか説明することができる。</li> <li>・ 各段落の働きを理解し、段落相互の関係を的確に読み取ったり、「序論・本論・結論」などの文章の組み立てや、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の型を指摘したりすることができる。</li> <li>・ 文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で説明できる。</li> <li>・ 指示語や接続詞に着目して論の展開をとらえることができる。</li> <li>・ 筆者の主張を抜き出して整理し、分かりやすく並べ直したり、指定された条件に従って要約したりすることができる。</li> <li>・ 文章中の難解な部分について、詳しく説明・解説することができる。</li> <li>・ 難解な語句について理解できる。</li> </ul> <p>小説等を読んで、登場人物の行動や心情の変化、ものの見方、感じ方・考え方・生き方などを的確にとらえ、人物相互の関係の変容を読み取ることができる。</p> <p>情景描写から心情や物事の起こる予兆などを読み取ることができる。優れた表現を味わうことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>中島敦『山月記』・夏目漱石『こころ』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物の言動・心情の変化やその過程を読み取り、理由を説明できる。</li> <li>・ 比喩表現などから状況や心情をとらえ、その移り変わりを説明できる。</li> <li>・ 作品の主題を的確に読み取ることができる。</li> <li>・</li> </ul>

学修指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p> <p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p> <p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について、その効果や的確性を根拠を明確にして指摘したり、書き手の主張や目的や手法をとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法の的確性を根拠を示しながら説明できる。</li> <li>・書き手の主張や意図を読み取り、説明できる。</li> </ul> <p>幅広く調べた内容を検討して自分の考えをもち、客観的な根拠に基づいて論理的に話すことができる。</p> <p>文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを的確に読み取り、指定された条件に従って要約したり、詳しく説明・解説したりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で説明できる。</li> <li>・指示語や接続詞に着目して論の展開をとらえることができる。</li> <li>・筆者の主張を抜き出して整理し、分かりやすく並べ直したり、指定された条件に従って要約したりすることができる。</li> <li>・文章中の難解な部分について、詳しく説明・解説することができる。</li> <li>・指定された字数内で自分の主張を的確に表現することができる。</li> </ul> <p>成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて理解し、活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文の成分を理解し、照応関係や表現効果を意識して文を書くことができる。</li> <li>・様々な文章の段落構成を理解し、また、それを意識して文章を書くことができる。</li> <li>・様々な文章について、語句の意味・用法を理解し、また適切に用いることができる。</li> <li>・説明的文章に使用される語句のうち難解なものの意味を理解する。</li> <li>・常に辞書を引き、語彙を増やすことをこころがけると同時に、小テストなどにより定着するよう努めさせる。</li> </ul>

学修指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p>	<p>論理的な文章を読み、文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを的確に読み取り、指定された条件に従って要約したり、詳しく説明・解説したりすることができる。形式段落ごとに内容を正しく把握することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論説や評論において、補足や反証などの関係や段落の構成を的確に捉え、それぞれの働きや関係によってどのような論が展開されているのか説明することができる。</li> <li>・各段落の働きを理解し、段落相互の関係を的確に読み取ったり、「序論・本論・結論」などの文章の組み立てや、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の型を指摘したりすることができる。</li> <li>・文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で説明できる。</li> <li>・指示語や接続詞に着目して論の展開をとらえることができる。</li> <li>・筆者の主張を抜き出して整理し、分かりやすく並べ直したり、指定された条件に従って要約したりすることができる。</li> <li>・文章中の難解な部分について、詳しく説明・解説することができる。</li> <li>・難解な語句について理解できる。</li> </ul>
<p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<p>小説等を読んで、登場人物の行動や心情の変化、ものの見方、感じ方・考え方・生き方などを的確にとらえ、人物相互の関係の変容を読み取ることができる。</p> <p>情景描写から心情や物事の起こる予兆などを読み取ることができる。優れた表現を味わうことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>司馬遼太郎『天明の絵師』・村上春樹『偶然の旅人』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の言動・心情の変化やその過程を読み取り、理由を説明できる。</li> <li>・比喩表現などから状況や心情をとらえ、その移り変わりを説明できる。</li> <li>・作品の主題を的確に読み取ることができる。</li> </ul>

学修指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p> <p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p> <p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について、その効果や的確性を根拠を明確にして指摘したり、書き手の主張や目的や手法をとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法の的確性を根拠を示しながら説明できる。</li> <li>・書き手の主張や意図を読み取り、説明できる。</li> </ul> <p>幅広く調べた内容を検討して自分の考えをもち、客観的な根拠に基づいて論理的に話すことができる。</p> <p>文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを的確に読み取り、指定された条件に従って要約したり、詳しく説明・解説したりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で説明できる。</li> <li>・指示語や接続詞に着目して論の展開をとらえることができる。</li> <li>・筆者の主張を抜き出して整理し、分かりやすく並べ直したり、指定された条件に従って要約したりすることができる。</li> <li>・文章中の難解な部分について、詳しく説明・解説することができる。</li> <li>・指定された字数内で自分の主張を的確に表現することができる。</li> </ul> <p>成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて理解し、活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文の成分を理解し、照応関係や表現効果を意識して文を書くことができる。</li> <li>・様々な文章の段落構成を理解し、また、それを意識して文章を書くことができる。</li> <li>・様々な文章について、語句の意味・用法を理解し、また適切に用いることができる。</li> <li>・説明的文章に使用される語句のうち難解なものの意味を理解する。</li> <li>・常に辞書を引き、語彙を増やすことをこころがけると同時に、小テストなどにより定着するよう努めさせる。</li> </ul>

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
(1) 世界史へのいざない	ア 自然環境と歴史 歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。	[大河流域の生活と歴史] ・大河流域に形成された古代文明が、自然環境と深くかわることによってその地域特有の生活・文化に発展したことを理解し、治水や灌漑を行い、河川を管理することが、文明の在り方に影響を与えたことを説明できる。
	イ 日本列島の中の世界の歴史 日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。	[日本と世界の人々との交流] ・日本列島を訪れたり、日本列島から海外に渡った使節や僧侶、商人などを通して、その時代の様子や世界との関係、交流の事跡、歴史的役割や社会的影響について説明できる。
(2)	ア ユーラシアの諸文明	[東アジアの文明]

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
<p>世界 の 一 体 化 と 日 本</p>	<p>自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジアと内陸アジアの地理的特質、中華文明の起源と秦・漢帝国、唐帝国、内陸アジア諸民族の動向について概観し、日本を含む東アジア世界の形成過程や文明の特質を説明できる。</li> <li>[南アジアの文明]</li> <li>・南アジアの地理的特質、インダス文明、アーリヤ人の移動以後の南アジアの文化、国家の発展について概観し、南アジア世界の形成過程や文明の特質を説明できる。</li> <li>[西アジアの文明]</li> <li>・西アジアの地理的特質、オリエント文明、イラン人の活動、アラブ人とイスラーム帝国の発展について概観し、西アジア世界の形成過程や文明の特質を説明できる。</li> <li>[ヨーロッパの文明]</li> <li>・地中海世界とヨーロッパの地理的特質、ギリシア・ローマ文明、西ヨーロッパの封建社会の成立、ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向について概観し、キリスト教とヨーロッパ世界の形成過程や文明の特質を説明できる。</li> </ul>
	<p>イ 結び付く世界と近世の日本</p> <p>大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[ヨーロッパの主権国家体制]</li> <li>・主権国家体制の特質と形成過程を理解したうえで、それが主権国家間の国際関係や人々の生活・文化に与えた影響などを説明できる。</li> <li>[大西洋三角貿易とアフリカ・アメリカ社会の変容]</li> <li>・大西洋三角貿易におけるヨーロッパ内部や大陸間の経済分業体制の確立、アフリカ・アメリカ社会の変容について説明できる。</li> <li>[世界の一体化の動きと近世の日本]</li> <li>・ヨーロッパ人の来航が日本の社会に及ぼした影響や、日本人の海外渡航、幕藩体制下における近隣諸国との関係など、近世における世界の中の日本の位置付けについて説明できる。</li> </ul>
	<p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成</p> <p>産業革命と資本主義の確立、フランス革命とア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[産業革命と資本主義の確立]</li> <li>・産業革命の技術革新、交通革命などに触れ、産業資本</li> </ul>

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
<p>メ リ カ 諸 国 の 独 立 、 自 由 主 義 と 国 民 主 義 の 進 展 を 扱 い 、 ヨ ー ロ ッ パ ・ ア メ リ カ に お け る 工 業 化 と 国 民 形 成 を 理 解 さ せ る。</p>	<p>主 義 が 確 立 す る と と も に 、 19 世 紀 半 ば ま で に イ ギ リ ス の 覇 権 が 確 立 し 、 世 界 の 構 造 的 な 一 体 化 が 進 展 し た こ と を 説 明 で き る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由主義的風潮が広まる一方、労働運動や社会主義思想が成立した背景や、その後の社会に及ぼした影響について説明できる。</li> </ul> <p>[フランス革命とアメリカ諸国の独立]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環大西洋間の諸地域に展開した政治的な動向を通して、啓蒙思想の影響を受けアメリカ合衆国と西ヨーロッパに近代民主主義社会の基礎が成立した過程を説明できる。</li> </ul> <p>[自由主義・国民主義の進展]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィーン体制下での自由主義・国民主義の運動が高まり、19世紀後半にはイタリア・ドイツなどで国民国家が形成される一方で、東方問題など、中欧、東欧における民族間の対立を招いたことを説明できる。</li> </ul>	
<p>エ  ア ジ ア 諸 国 の 変 貌 と 近 代 の 日 本  ヨ ー ロ ッ パ の 進 出 期 に お け る ア ジ ア 諸 国 の 状 況 、 植 民 地 化 や 従 属 化 の 過 程 で の 抵 抗 と 挫 折 、 伝 統 文 化 の 変 容 、 そ の 中 で の 日 本 の 動 向 を 扱 い 、 19 世 紀 の 世 界 の 一 体 化 と 日 本 の 近 代 化 を 理 解 さ せ る。</p>	<p>[アジア諸国の変貌]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・18世紀後半から19世紀までのアジア諸国の支配体制の動揺と、ヨーロッパ諸国のアジア諸地域への進出の結果、ヨーロッパを中心とする国際的分業体制に組み込まれていったことを説明できる。</li> <li>・18世紀後半から19世紀までのアジアの諸帝国における動揺と、伝統文化の変容について説明できる。</li> <li>・アジア諸国の抵抗、近代化の動き、民族意識を形成など、社会変革へのアジアの主体的な動きについて説明できる。</li> </ul> <p>[日本の開国と近代化]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・19世紀の世界の一体化と日本の近代化の過程を、日本と他のアジア諸国の歴史を相互に比較して説明できる。</li> </ul>	
<p>(3) 地 球  ア  急 変 す る 人 類 社 会  科 学 技 術 の 発 達 、 企 業 や 国 家 の 巨 大 化 、 公 教 育 の 普 及 と 国 民 統 合 、 国 際 的 な 移 民 の 増 加 、 マ ス メ</p>	<p>[第二次産業革命]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次産業革命に伴う産業構造の変化によって、企業や国家の巨大化など社会の変化に伴い、世界の一体化</li> </ul>	

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
<p>社 会 と 日 本</p>	<p>ディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p> <p>イ 世界戦争と平和 帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p>	<p>が進んだことを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家の役割が増大し、公教育が普及し国民統合が進展したことを説明できる。</li> </ul> <p>[大衆社会の出現]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大量生産・大量消費社会の登場による大衆社会の成立により民主主義が進展したことを説明できる。</li> </ul> <p>[帝国主義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欧米の帝国主義諸国が植民地獲得や勢力圏拡大の抗争を繰り広げ、一方で日本と他のアジア・アフリカ諸国の歴史を相互に比較し、各国でナショナリズムが高揚していく意義を説明できる。</li> </ul> <p>[第一次世界大戦とロシア革命]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一次世界大戦の原因や戦時下の総力戦体制の性格、オーストリアなどの帝国の崩壊と東欧の民族自決など戦争がもたらした世界の変化を説明できる。</li> <li>・ 大戦中にロシアではじまった社会主義革命の過程を説明できる。</li> <li>・ 第一次世界大戦が日本の政治や経済などに与えた影響について説明できる。</li> </ul> <p>[第一次世界大戦後の国際秩序]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際連盟やヴェルサイユ体制・ワシントン体制の理念や、アメリカ合衆国の国際的影響力が急増したことに着目し、第一次世界大戦後の国際社会の枠組みが大きく変化したことを説明できる。</li> <li>・ アジア諸地域の民族運動の動向と、これに対する日本の対応について説明できる。</li> </ul> <p>[世界恐慌とファシズムの台頭]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界恐慌に対するニューディール政策などの各国の対応について説明できる。またこのことが、ドイツのナチズムなどファシズムの台頭や新たな国際対立を生</li> </ul>



学習指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>ウ 三つの世界と日本の動向 第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p> <p>エ 地球社会への歩みと課題 1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p> <p>オ 持続可能な社会への展望 現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>み出したことを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東アジアにおける国際情勢について、中国をめぐる国際社会の動きと日本国内の状況を照応させながら説明できる。</li> </ul> <p>[第二次世界大戦]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦争の過程で生じてくる米ソの対立構造と、原爆使用が戦後の国際連合の成立や、国際政治に影響を与えたことを説明できる。</li> </ul> <p>[冷戦のはじまり]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米ソ両陣営の対立による冷戦の構図と、集団安全保障体制の強化について説明できる。また核兵器や人工衛星の開発など科学技術の発達が緊張関係を激化させたことを説明できる。</li> </ul> <p>[市場経済のグローバル化]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1970年代以降の先進諸国の経済構造の転換やアジアの工業化が促進されたことによる市場経済のグローバル化の進展と功罪について説明できる。</li> </ul> <p>[冷戦の終結と社会主義体制の崩壊]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会主義経済の停滞により、東欧諸国やソヴィエト連邦の政治的自由化、市場経済への移行が不可避となったことで、冷戦の終結を促し、社会主義体制が相次いで崩壊したことを説明できる。</li> </ul> <p>[地域統合の動き]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>EUの形成過程を踏まえ、世界各地で地域統合や地域協力を目指す動きが活発化していることを説明できる。</li> </ul> <p>[地域紛争の頻発]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パレスチナ紛争など世界各地で頻発している地域紛争の歴史的背景を、既習事項をふまえて説明できる。</li> </ul>

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
(序) 私 た ち の 時 代 と 歴 史	現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。	近現代の歴史事象と現在との関連を考察するための、資料活用の方法、技能、態度を身につけ、様々な観点から歴史を考察し説明できる。
(1) 近 代 の 日 本 と 世 界	<p>開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察させる。</p> <p>ア 近代国家の形成と国際関係の推移                      (ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や分化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。</p>	<p>世界史との関連性を意識しながら、政治にとどまらず幅広い分野からその時代を考察し、説明できる。</p> <p>欧米列強の進出によるアジアの国際情勢の変容、欧米列強の接近に対し幕府や諸藩、様々な立場の人々がどのような反応をし、どのような改革を試みたかを、時間の推移と状況の変化のなかで説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幕府諸藩の改革</li> <li>・ 江戸時代後半の学問・思想</li> <li>・ 国内状況・対外情勢への対応</li> <li>・ 開国による幕政の変化</li> <li>・ 国際社会に組み込まれた日本社会の変化</li> <li>・ 新たな政権の成立過程と近代化政策</li> <li>・ 初期の外交、国境の確定</li> <li>・ 民権運動と政府の対応</li> <li>・ 政府の財政政策と国民生活の変化</li> <li>・ 大日本帝国憲法の特色とそれに基づく政治体制</li> </ul> <p>を主要な観点とし、日本の近代化がどのような特徴を持っているかを、世界史やアジア諸国との関連のなかで説明できる。</p>

学習指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>(イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に注目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。</p> <p>イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢                      (ア) 産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察させる。</p>	<p>国際情勢の変化の中で、日本のアジア外交がどのような意図の下で進められていくかを、対外関係・国内情勢との関連で説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会制度の進展</li> <li>・ 朝鮮をめぐる内外情勢と日清戦争</li> <li>・ 中国をめぐるアジア情勢の変化</li> <li>・ 日露戦争と戦後の植民地統治</li> <li>・ 戦後の社会情勢の変化</li> </ul> <p>を主要な観点とし、急速な近代化の中で、日清日露戦争が国際関係の中で日本の立場をどう変化させたか、また政治・経済のどのような変化をともなったかを説明できる。</p> <p>政府主導の急速な近代化の特徴と、国民生活・社会の変化、近代的な思想・学問の発展の様子を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本における産業革命</li> <li>・ 経済の発展と国民生活の変化</li> <li>・ 大衆社会の出現と学問・文化</li> </ul> <p>を主要な観点とし、現代につながる産業社会・大衆文化の萌芽・成長の過程を説明できる。現代との関わりという点で主体的な問題意識を持ち、思考したことを他者に説明できる。</p>

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
<p>(2) 大戦期の世界と日本</p>	<p>(イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。</p> <p>ウ 近代の追究 近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を育てる。</p>	<p>現代社会の形成に密接に関わる両大戦が、いかなる原因で、どのような過程をおって勃発することになったか、世界史との関連に留意しつつ、アジア情勢の変化や日本の国内情勢の変容とともに考察し、説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欧州における大戦と日本の対外政策</li> <li>・ 日本の対外政策の変容</li> <li>・ 20年代の恐慌と日本の対応、世界の状況</li> <li>・ 大陸進出の始まりと国内の政治情勢</li> <li>・ 日中戦争本格化と国内外の動向</li> <li>・ 太平洋戦争の勃発と経過、アジア政策</li> </ul> <p>を主要な観点とし、アジアとの関係、ヨーロッパ諸国との関係、アメリカとの関係、日本の国内状況を説明できる。</p> <p>近代の歴史が現代の生活と深く関わっていることを学び、身近な問題として、主体的に考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業の発展</li> <li>・ 国際状況が国民に与える影響</li> <li>・ 身近な地域社会の変容</li> </ul> <p>を主要な観点とし、近代の様々な分野について各自が設定した主題について主体的に学び、その成果を他者に説明できる。</p>
<p>(3) 現代の日本と世界</p>	<p>第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、現代の諸課題と現代の歴史との関連を重視して考察させる。</p> <p>ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p>	<p>日本の急速な近代化が両大戦を経て挫折し、新しい国際社会の枠組みの中で国家の再建が始まったことを、占領下の改革の特徴のその変容を含めて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 占領政策と新憲法の制定</li> <li>・ 冷戦の影響と日本</li> </ul> <p>を主要な観点として、政治制度や国際環境の激変とそれに対する対応を、現代の諸問題と関わらせながら説明できる。</p>

学習指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ 現代からの探究 現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身につけさせる。 内容の(2)のウ及び(3)のウについては、資料を活用して歴史を考察したり、その結果を表現したりする技能を高めること。</p>	<p>占領期以降のわが国の歩みを、政治・経済・社会・国際情勢など多様な視点から説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦後の政治状況と国際情勢</li> <li>・ 戦後経済の歩みと国民生活・意識の変化</li> <li>・ 高度経済成長以降の政治経済の変化と冷戦の終結</li> <li>・ 「失われた10年(20年)」と55年体制の崩壊</li> <li>・ 2000年代の日本と世界</li> </ul> <p>を主要な観点として、より広い視野をもって将来への考察を行い、考えたことを他者に説明できる。</p> <p>各自の興味・関心に応じて探究主題を設定し、これまでの授業で身につけた資料活用力や表現力を活かしつつ、現代が抱える問題について、過去にさかのぼって歴史的に捉えた結果を踏まえて解決の方策を考察し、その考えを他者に説明できる。</p>

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
(1) 現代世界 の特色 と諸課題 の地理的 考察	<p>世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を深めるとともに、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 地球儀や地図からとらえる現代世界 地球儀と世界地図との比較、様々な世界地図の読図などを通して、地理的技能を身に付けさせるとともに、方位や時差、日本の位置と領域、国家間の結び付きなどについてとらえさせる。</p> <p>イ 世界の人々をとりまく自然環境 世界の気候や地形的特徴、日本の自然や地形的特徴を考察し、人間と自然がどうかかわっているのかを考える。</p> <p>イ 世界の生活・文化の多様性 世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けてとらえ、その多様性について理解させるとともに、異文化を理解し尊重することの重要性について考察させる。</p> <p>ウ 地球的課題の地理的考察 環境、資源・エネルギー、人口、食料及び居住・都市問題を地球的及び地域的視野からとらえ、地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解させ、それらの課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察させる。</p>	

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
<p>(2) 生活圏の諸課題の地理的考察</p>	<p>生活圏の諸課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 日常生活と結び付いた地図 身の回りにある様々な地図の収集や地形図の読図、目的や用途に適した地図の作成などを通して、地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>イ 自然環境と防災 我が国の自然環境の特色と自然災害とのかかわりについて理解させるとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察させる。</p> <p>ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査 生活圏の地理的な諸課題を地域調査やその結果の地図化などによってとらえ、その解決に向けた取組などについて探究する活動を通して、日常生活と結び付いた地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代世界の系統的地理的考察</p>	<p>地形や気候といった自然環境を通して諸事象の空間的な規則性、傾向性やそれらの要因などを系統地理的に考察させるとともに、現代世界の諸課題について地球的視野から理解させる。</p> <p>ア 世界の気候 ケッペンの気候区分を中心に、地域の気候環境の特徴や、土壌、植生、風系についても理解させる。</p> <p>イ 世界の地形 プレートテクトニクス、大地形、小地形、地形図読図等を通して、人間と地域との関係を学ぶ。 総合的に世界の地形、気候、植生などに関する諸事象を取り上げ、それらの分布や人間生活などのかかわりなどについて考察させるとともに、現代世界の環境問題を考察させる。</p> <p>ア 資源、産業</p>	<p>〔地理情報と現代の地図〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・We B GISを用い学校周辺の地域や、世界の地形、交通の動き、環境の変化等を知ることができることを理解させる。そして得た情報から何がわかるか、考察させる。</li> <li>データとして得られた情報を紙ベースの地図におこし、考察させる。</li> </ul> <p>〔地図の活用と地域調査〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル地図と紙ベースの地図を両方使用して学校周辺の地域的特色を理解させる。</li> <li>・地図を持って巡検に行き、理解したことを報告書にまとめる。</li> </ul>
<p>(2) 産業と資源の考察</p>	<p>世界の資源・エネルギーや農業、工業、流通、消費などに関する諸事象を取り上げ、それらの分布や動向などについて考察させるとともに、現代世界の資源・エネルギー、食料問題を考察させる。</p> <p>ア 人口、都市・村落</p>	<p>〔世界の地形〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の大地形、小地形の成因、特徴等を地図を参考に理解する。</li> <li>・地震、津波、火山、水害等の自然災害を理解する。</li> <li>・プレートテクトニクスについて、理解する。</li> </ul> <p>〔世界の気候〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大気の大循環の成因、風系について理解する。</li> <li>・ケッペンの気候区分に基づく、世界の各地域の気候的特徴を理解する。</li> <li>・各地域の植生や土壌もその地域の気候と密接に結びついていることを理解する。</li> </ul>
<p>(3) 人口・都市・村落</p>	<p>世界の人口、都市・村落に関する諸事象を取り上げ、それらの分布や動向などについて考察させるとともに、現代世界の人口、居住・都市問題を考察させる。</p>	



<p>(4) 生活文化、民族・宗教</p>	<p>ア 生活文化、民族・宗教 世界の生活文化、民族・宗教に関する諸事象を取り上げ、それらの分布や民族と国家の関係などについて考察させるとともに、現代世界の民族、領土問題を考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の環境問題について学ぶ。</li> <li>[農林水産業]</li> <li>・世界の農業地域、流通、森林や水産資源について理解する。</li> <li>・世界の食糧問題について理解する。</li> <li>[エネルギーと鉱産資源]</li> <li>・エネルギー生産には地域性があることを理解する。</li> <li>・世界の金属資源や化石燃料の問題について理解する。</li> <li>[工業の立地と工業地域]</li> <li>・工業立地の変容と多国籍企業について理解する。</li> <li>・先進国と発展途上国の産業集積について理解する。</li> <li>・第三次産業、貿易の変遷を理解する。</li> <li>[世界の人口分布と人口増加]</li> <li>・人口ピラミッドや人口移動の変遷について理解する。</li> <li>[さまざまな都市の発達]</li> <li>・先進国と発展途上国の人口問題について理解する。</li> <li>・大都市の問題を理解する。</li> <li>・村落の機能と形態について理解する。</li> <li>[民族・言語・宗教]</li> <li>・国家と民族の関係について理解する。</li> <li>・世界の民族問題や宗教上の対立等について学ぶ。</li> <li>[国家と領土問題]</li> <li>・国家の領域、領土問題を理解する。</li> </ul>
<p>(5) 現代社会の地誌的考察</p>	<p>ア 現代世界の地域区分 現代世界を幾つかの地域に区分する方法や地域の疑念、地域区分の意義を理解させるとともに、その有用性に気付かせる。</p> <p>イ 現代世界の諸地域 現代世界の諸地域を多面的・多角的に考察し、各地域の多様な特色や課題を理解させるとともに、現代世界を地誌的に考察する方法を身に付けさせる。</p> <p>ウ 現代世界と日本 現代世界における日本の国土の特色について、多面的・多角的に考察し、我が国が抱える地理的な諸課題を探究する活動を通して、その解決の方向性や将来の国土の在り方などについて展望させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進国と発展途上国の人口問題について理解する。</li> <li>・大都市の問題を理解する。</li> <li>・村落の機能と形態について理解する。</li> <li>[民族・言語・宗教]</li> <li>・国家と民族の関係について理解する。</li> <li>・世界の民族問題や宗教上の対立等について学ぶ。</li> <li>[国家と領土問題]</li> <li>・国家の領域、領土問題を理解する。</li> </ul>

		<p>[現代世界の諸地域]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・南北アメリカ、アフリカ、オセアニアを中心に、地域の特徴や他の地域との関係について理解する。</li></ul> <p>[現代世界の日本]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日本が直面する地理的な諸課題について広く理解する。</li></ul>
--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
<p>(1) 私たちの生きる社会</p>	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p>	<p>「現代社会」の授業を進める際、幸福、正義、公正の3つの概念をキーワードにしていくことを理解させる。</p>
<p>(2) 現代社会と人間としての在り方</p>	<p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>ア 青年期と自己の形成 生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義 基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p> <p>ウ 個人の尊重と法の支配 個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて</p>	<p>青年期と自己の形成に関しては、次の事項を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○青年期を表す言葉</li> <li>○青年期の欲求、マズローの欲求階層説</li> <li>○青年と伝統文化、国際化</li> </ul> <p>現代の民主政治と政治参加の意義に関しては、次の事項を理解し、説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○民主政治の形成過程を社会契約説の主張を踏まえて把握させる。</li> <li>○議院内閣制と大統領制の特徴と相違</li> <li>○日本国憲法の成立過程と三大基本原理</li> <li>○平和主義とわが国の安全保障</li> <li>○基本的人権の保障と新しい人権について具体的事例を使って</li> <li>○国民主権と議会制民主主義を国会の機能に着目して</li> <li>○内閣の構成と権限および行政拡大と民主化</li> <li>○裁判所の機能と役割、裁判員制度のあらましとその意義について</li> </ul>

	学習指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>(3) 共に生きる社会を目指して</p>	<p>考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	
	<p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p>	<p>現代の経済社会と経済活動の在り方については、次の事項を理解し、説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○経済体制（資本主義と社会主義）</li> <li>○現代の企業</li> <li>○市場経済の機能と限界</li> <li>○経済成長と国民所得</li> <li>○政府の役割と財政</li> <li>○金融の機能</li> <li>○経済成長と景気変動（GDP、NIの計算）</li> <li>○雇用と労働問題</li> <li>○日本の社会保障</li> </ul>
	<p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割 グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p>	<p>国際社会の動向と日本の果たすべき役割については、次の事項を理解し、説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国際法と国際連合</li> <li>○国際政治の展開</li> <li>○人権と民族問題</li> <li>○国際経済のしくみと貿易</li> <li>○地域的経済統合（EU、ASEANなど）</li> <li>○国際協力の在り方</li> </ul>
<p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<p>現代社会に関する諸課題については、次の事項のうちから2つ程度を選択させ課題学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地球環境問題</li> <li>○資源・エネルギー問題</li> <li>○科学技術の発達と生命倫理</li> <li>○人口問題と私たちの未来</li> <li>○発展途上国の貧困</li> </ul>	

教科：公民 科目：現代社会

学習指導要領		昭和高校 学力スタンダード
(1) 数と式	<p>ア 数と集合                      (ア) 実数                      数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平方根を含む数について、整数部分、小数部分を求めることができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(例) <math>\frac{1}{\sqrt{5}-2}</math> の整数部分を a、小数部分を b とするとき、次の値を求めよ。                      (1) b                      (2) <math>ab + b^2</math></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 絶対値を含む式を、場合分けをして、絶対値をはずした式で表すことができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(例) <math> a+2  +  a-3 </math> を簡単にせよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 分母が三項である無理数の分母の有理化ができた り、二重根号を簡単な式に変形できる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(例1) <math>\frac{1}{1+\sqrt{2}+\sqrt{3}}</math> の分母を有理化せよ。                      (例2) <math>\sqrt{7-\sqrt{40}}</math> を簡単にせよ。</p> </div>

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>(イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p> <p>(イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>	<p>・様々な命題について、適切な証明法を選択し、証明することができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 三つの整数 <math>a, b, c</math> が <math>a^2 + b^2 = c^2</math> を満たすとき、<math>a, b, c</math> の少なくとも1つは偶数であることを証明せよ。</p> </div> <p>・式を多面的に捉えることができ、展開や複二次式の因数分解など、様々な式の処理ができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 次の問に答えよ。                      (1) <math>(x^2 + 2x + 3)(x^2 - 2x + 3)</math> を展開せよ。                      (2) <math>x^4 + 3x^2 + 4</math> を因数分解せよ。</p> </div> <p>・絶対値を含む方程式及び一次不等式を解くことができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 不等式 <math> x-1  &gt; \frac{1}{3}x+1</math> を解け。</p> </div>

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>(2) 二次関数とそのグラフ</p> <p>事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p> <p>イ 二次関数の値の変化</p> <p>(ア) 二次関数の最大・最小</p> <p>二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p> <p>(イ) 二次方程式・二次不等式</p> <p>二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。</p>	<p>・絶対値やガウス記号を含む簡単な関数の変化について考察し、グラフをかくことができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 関数のグラフをかけ。</p> <p>(1) <math>f(x) =  x - 1 </math></p> <p>(2) <math>f(x) = [x]</math></p> </div> <p>・二次関数を表す式を適切に処理し、グラフの平行移動についての考察ができ、二つの放物線の位置関係を説明及び式を求めることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例 1) 二次関数 <math>y = x^2 + 2x + 2</math> のグラフを <math>y = x^2 - 6x + 11</math> のグラフに重ねるためには、<math>x</math> 軸方向、<math>y</math> 軸方向にどれだけ平行移動すればよいか。</p> <p>(例 2) 二次関数 <math>y = -2x^2 + x</math> のグラフを <math>x</math> 軸方向に 3、<math>y</math> 軸方向に -2 だけ平行移動した二次関数の方程式を求めよ。</p> </div> <p>・係数や定数項に文字が含まれる二次関数について、適切な場合分けをして、二次関数の最大や最小を考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) <math>a</math> を定数とするとき、次の二次関数の最小値を求めよ。</p> <math display="block">y = x^2 - 2ax \quad (0 \leq x \leq 2)</math> </div> <p>・係数や定数項に文字が含まれる二次関数について、そのグラフと <math>x</math> 軸との位置関係を、適切に場合分けをして、考察することができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 二次関数 <math>y = x^2 - 4x + k</math> のグラフと <math>x</math> 軸との共有点の個数を求めよ。</p> </div>



学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>(3) ア 三角比</p> <p>図形 の 計 量</p> <p>(ア) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。</p> <p>(イ) 鈍角の三角比 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めること。</p>	<p>・係数に文字が含まれる二次不等式について、二次関数のグラフなどを活用して、条件を満たす解を求めることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 二次不等式 <math>x^2 + 2mx + 2m &gt; 0</math> の解がすべての実数であるとき、定数 <math>m</math> の値の範囲を求めよ。</p> </div> <p>・三角比の相互関係を鋭角の三角比の定義に基づいて説明することができ、三角比やその相互関係を適切に活用できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 次の公式を三角比の定義に基づいて説明せよ。</p> <math display="block">1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta}</math> </div> <p>・ <math>90^\circ - \theta</math>、<math>180^\circ - \theta</math> の三角比の考え方を基に、<math>90^\circ + \theta</math> の三角比を考察し、式の証明などに活用できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) <math>\sin(90^\circ + \theta)</math>、<math>\cos(90^\circ + \theta)</math>、<math>\tan(90^\circ + \theta)</math> を <math>\sin \theta</math>、<math>\cos \theta</math>、<math>\tan \theta</math> で表せ。また、その理由も答えよ。</p> </div> <p>・三角比を含む対称式・交代式の値を求めることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) <math>90^\circ &lt; \theta &lt; 180^\circ</math> において、</p> <math display="block">\sin \theta + \cos \theta = \frac{1}{3}</math> <p>のとき、<math>\sin \theta \cos \theta</math>、<math>\sin \theta - \cos \theta</math> の値を求めよ。</p> </div>

学習指導要領		昭和高校 学力スタンダード																															
<p>(ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p> <p>イ 図形の計量 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。</p>	<p>ア データの散らばり 四分位偏差、分散及び標準偏差等の意味について理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し、説明する。</p> <p>イ データの相関 散布図や相関係数の意味を理解し、それらを用いて二つのデータの相関を把握し説明すること。</p>	<p>・正弦定理、余弦定理を三角形の決定条件と関連付けて理解し、三角形の形状、辺の長さや角の大きさを求めることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(例) △ABC において、次の等式の等式が成り立つとき、A, B, C のうち、最も大きい角の大きさを求めよ。</p> <math display="block">\frac{\sin A}{5} = \frac{\sin B}{3} = \frac{\sin C}{7}</math> </div> <p>・正四面体などの体積、正四面体に内接する球の半径などの考察に、正弦定理・余弦定理などを活用できる。</p>																															
		<p>・最小値、第1四分位数、第2四分位数(中央値)、第3四分位数、最大値などを表す箱ひげ図とデータの分布(ヒストグラム)と関連させて、データの特長を捉えることができる。</p> <p>・二つのデータの対応表や相関表から相関係数を求めることができる。また、散布図や相関係数を利用して、データの相関を的確に捉えて説明できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 次の変数xと変数yの対応表から、変数xと変数yの相関係数を求めよ。</p> <p style="text-align: center;">(対応表)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>あ</td> <td>い</td> <td>う</td> <td>え</td> <td>お</td> <td>か</td> <td>き</td> <td>く</td> <td>け</td> <td>こ</td> </tr> <tr> <td>変数x</td> <td>あ</td> <td>い</td> <td>う</td> <td>え</td> <td>お</td> <td>か</td> <td>き</td> <td>く</td> <td>け</td> <td>こ</td> </tr> <tr> <td>変数y</td> <td>あ</td> <td>い</td> <td>う</td> <td>え</td> <td>お</td> <td>か</td> <td>き</td> <td>く</td> <td>け</td> <td>こ</td> </tr> </table> </div>		あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	変数x	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	変数y	あ	い	う	え	お	か	き	く
	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ																							
変数x	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ																							
変数y	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ																							

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>ア 式と証明</p> <p>(1) (ア) 整式の乗法・除法、分数式の計算</p> <p>三角関数 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすること。また、整式の除法や分数式の四則計算について理解し、簡単な場合について計算をすること。</p> <p>(イ) 等式と不等式の証明</p> <p>等式や不等式が成り立つことを、それらの基本的な性質や実数の性質などを用いて証明すること。</p>	<p>・ 3次式の因数分解の公式を活用できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の式を因数分解せよ。</p> <math display="block">a^6 - b^6</math> </div> <p>・ 二項定理の考え方を活用できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例1) <math>(a + 2b + 3c)^7</math>の展開式における <math>a^3b^2c^2</math>の項の係数を求めよ。</p> <p>(例2) 二項定理を用いて、次の等式を導け。</p> <math display="block">{}_nC_0 + {}_nC_1 + {}_nC_2 + \cdots + {}_nC_n = 2^n</math> </div> <p>・ 分母や分子に分数式を含む分数式の計算ができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の式を簡単にせよ。</p> <math display="block">\frac{\frac{1}{x}}{1 - \frac{1}{x}}</math> </div> <p>・ いろいろな性質を用いて、不等式の証明ができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の不等式を証明せよ。</p> <p>(1) 不等式 <math>a^2 + b^2 + c^2 \geq ab + bc + ca</math> を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。</p> <p>(2) 不等式 <math> a + b  \leq  a  +  b </math> を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。</p> </div> <p>・ 不等式を最大・最小問題へ活用できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) <math>x &gt; 2</math> のとき、<math>x + \frac{1}{x-2}</math> の最小値を求めよ。</p> </div>

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>イ 高次方程式                      (ア) 複素数と二次方程式                      数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。また、二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。</p> <p>(イ) 因数定理と高次方程式                      因数定理について理解し、簡単な高次方程式の解を、因数定理などを用いて求めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を含む2次方程式に解の判別を活用できる。                      (例) 2次方程式 <math>x^2 + (m+1)x + 1 = 0</math> の解の種類を判別せよ。</li> <li>・解と係数の関係を利用して、2次方程式を作ること等に活用できる。                      (例) 2次方程式 <math>x^2 - 7x - 1 = 0</math> の2つの解を <math>\alpha, \beta</math> とするとき、<math>\frac{2}{\alpha}, \frac{2}{\beta}</math> を解とする2次方程式を作れ。</li> <li>・3次方程式の解と係数の関係を、種々の問題に活用できる。                      (例) 3次方程式 <math>x^3 - x^2 - x - m = 0</math> の3つの解が <math>2, \alpha, \beta</math> であるとき、次の値を求めよ。                      (1) <math>m</math>    (2) <math>\alpha + \beta + 2</math>    (3) <math>2\alpha\beta</math></li> <li>・剰余の定理の考え方を活用できる。                      (例) 整式 <math>P(x)</math> を <math>(x-1)(x-2)</math> で割ると余りは <math>3x-5</math>、<math>P(x)</math> を <math>(x-1)(x+2)</math> で割ると余りは <math>-5x+3</math> である。<math>P(x)</math> を <math>(x-2)(x+2)</math> で割った余りを求めよ。</li> <li>・方程式の解が与えられたときなどに、因数定理の考え方を活用できる。                      (例) 3次方程式 <math>x^3 - 3x^2 + ax + b = 0</math> が、<math>1+i</math> を解に持つとき、実数の定数 <math>a, b</math> の値を求めよ。また、他の解を求めよ。</li> <li>・因数定理を用いてやや複雑な因数分解ができる。                      (例) 次の式を因数分解せよ。  <math>2x^3 - 5x^2 + 1</math></li> </ul>

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>(1) ア 式と証明                      い (ア) 整式の乗法・除法、分数式の計算                      ろ 3次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、                      い それらを用いて式の展開や因数分解をすること。                      ろ また、整式の除法や分数式の四則計算について理                      な 解し、簡単な場合について計算をすること。                      式</p> <p>(イ) 等式と不等式の証明                      等式や不等式が成り立つことを、それらの基本的な性質や実数の性質などを用いて証明すること。</p>	<p>・ 3次式の因数分解の公式を活用できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の式を因数分解せよ。</p> <math display="block">a^6 - b^6</math> </div> <p>・ 二項定理の考え方を活用できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例1) <math>(a + 2b + 3c)^7</math>の展開式における  <math>a^3b^2c^2</math>の項の係数を求めよ。                      (例2) 二項定理を用いて、次の等式を導け。</p> <math display="block">{}_nC_0 + {}_nC_1 + {}_nC_2 + \cdots + {}_nC_n = 2^n</math> </div> <p>・ 分母や分子に分数式を含む分数式の計算ができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の式を簡単にせよ。</p> <math display="block">\frac{\frac{1}{x}}{1 - \frac{1}{x}}</math> </div> <p>・ いろいろな性質を用いて、不等式の証明ができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の不等式を証明せよ。</p> <p>(1) 不等式 <math>a^2 + b^2 + c^2 \geq ab + bc + ca</math> を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。</p> <p>(2) 不等式 <math> a + b  \leq  a  +  b </math> を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。</p> </div> <p>・ 不等式を最大・最小問題へ活用できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) <math>x &gt; 2</math> のとき、<math>x + \frac{1}{x-2}</math> の最小値を求めよ。</p> </div>

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>イ 高次方程式                      (ア) 複素数と二次方程式                      数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。また、二次方程式の解の種類を判別及び解と係数の関係について理解すること。</p> <p>(イ) 因数定理と高次方程式                      因数定理について理解し、簡単な高次方程式の解を、因数定理などを用いて求めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 文字を含む2次方程式に解の判別を活用できる。                      (例) 2次方程式 <math>x^2 + (m+1)x + 1 = 0</math> の解の種類を判別せよ。</li> <li>• 解と係数の関係を利用して、2次方程式を作ること等に活用できる。                      (例) 2次方程式 <math>x^2 - 7x - 1 = 0</math> の2つの解を <math>\alpha, \beta</math> とするとき、<math>\frac{2}{\alpha}, \frac{2}{\beta}</math> を解とする2次方程式を作れ。</li> <li>• 3次方程式の解と係数の関係を利用して、種々の問題に活用できる。                      (例) 3次方程式 <math>x^3 - x^2 - x - m = 0</math> の3つの解が <math>2, \alpha, \beta</math> であるとき、次の値を求めよ。                      (1) <math>m</math>    (2) <math>\alpha + \beta + 2</math>    (3) <math>2\alpha\beta</math></li> <li>• 剰余の定理の考え方を活用できる。                      (例) 整式 <math>P(x)</math> を <math>(x-1)(x-2)</math> で割ると余りは <math>3x-5</math>、<math>P(x)</math> を <math>(x-1)(x+2)</math> で割ると余りは <math>-5x+3</math> である。<math>P(x)</math> を <math>(x-2)(x+2)</math> で割った余りを求めよ。</li> <li>• 方程式の解が与えられたときなどに、因数定理の考え方を活用できる。                      (例) 3次方程式 <math>x^3 - 3x^2 + ax + b = 0</math> が、<math>1+i</math> を解に持つとき、実数の定数 <math>a, b</math> の値を求めよ。また、他の解を求めよ。</li> <li>• 因数定理を用いてやや複雑な因数分解ができる。                      (例) 次の式を因数分解せよ。  <math>2x^3 - 5x^2 + 1</math></li> </ul>

学習指導要領		昭和高校 学力スタンダード
<p>(2) 図形と方程式</p> <p>ア 直線と円                      (ア) 点と直線                      座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。また、座標平面上の直線を方程式で表し、それを二直線の位置関係などの考察に活用すること。</p> <p>(イ) 円の方程式                      座標平面上の円を方程式で表し、それを円と直線の位置関係などの考察に活用すること。</p> <p>イ 軌跡と領域                      軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めること。また、簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。</p>	<p>• 座標を利用して図形の性質を証明できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     (例) <math>\triangle ABC</math> の辺 <math>BC</math> の中点を <math>M</math> とすると  <math display="block">AB^2 + AC^2 = 2(AM^2 + BM^2)</math>                     であることを証明せよ。                 </div> <p>• 二直線の垂直条件を利用して、三角形の性質について考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     (例) <math>\triangle ABC</math> の 3 つの頂点から、それぞれの対辺に下した垂線 <math>AL, BM, CN</math> は 1 点で交わることを証明せよ。                 </div> <p>• 二直線の交点を通る直線について考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     (例) 2 直線 <math>x + 2y - 10 = 0, 2x + 3y - 7 = 0</math> の交点を通り、点 <math>(5, 6)</math> を通る直線の方程式を求めよ。                 </div> <p>• 二つの円の交点を通る直線や円の方程式を求めることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     (例) 二つの円 <math>x^2 + y^2 - 1 = 0</math> と <math>x^2 + y^2 + 4x - 4y + 3 = 0</math> について次の問いに答えよ。                      (1) この二つの円が 2 点を共有することを示せ。                      (2) この二つの円の交点を通る直線の方程式を求めよ。                      (3) この二つの円の交点を通り、原点を通る円の方程式を求めよ。                 </div> <p>• 中心が原点ではない円について、その円周上の点における接線の方程式について考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     (例) 円 <math>(x - 2)^2 + (y - 1)^2 = 25</math> 上の点 <math>P(6, 4)</math> における接線の方程式を求めよ。                 </div>	

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>(3) イ 三角関数 三角関数とそのグラフ 三角関数とそのグラフの特徴について理解すること。</p> <p>(イ) 三角関数の基本的な性質 三角関数について、相互関係などの基本的な性質を理解すること。</p>	<p>・連立不等式の表す領域を点<math>(x, y)</math>が動くとき、<math>x, y</math>の一次式<math>ax + by</math>のとり範囲について考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 次の連立不等式の表す領域を <math>D</math> とするとき、<math>D</math> を図示せよ。また、点<math>(x, y)</math>がこの領域を動くとき<math>2x + 3y</math>の最大値と最小値を求めよ。</p> <math display="block">\begin{cases} 2x + y \leq 6 \\ x + 2y \leq 6 \\ x \geq 0 \\ y \geq 0 \end{cases}</math> </div> <p>・扇形の面積や周の長さを多面的に考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 周の長さが <math>18\text{cm}</math> の扇形について、次の間に答えよ。</p> <p>(1) 扇形の中心角を <math>\theta</math>、半径を <math>r</math> とするとき、<math>\theta</math> を <math>r</math> で表せ。</p> <p>(2) 扇形の面積が最大になる場合の面積、半径、中心角を求めよ。</p> </div> <p>・三角関数のグラフをかくことができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) <math>y = 2\cos(2\theta - \frac{\pi}{3})</math> のグラフをかけ。また、その周期を答えよ。</p> </div> <p>・対称式を活用して、式の値を求めることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) <math>\sin \theta + \cos \theta = \frac{1}{4}</math> のとき、次の式の値を求めよ。</p> <p>(1) <math>\sin \theta \cos \theta</math></p> <p>(2) <math>\sin^3 \theta + \cos^3 \theta</math></p> </div>



学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>(ウ) 三角関数の加法定理 三角関数の加法定理を理解し、それをを用いて2倍角の公式を導くこと。</p> <p>(4) ア 指数関数 指数関数 指数関数・対数関数 (ア) 指数の拡張 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解すること。</p>	<p>・式変形などを活用して、三角関数を含む方程式、不等式の解を求めたり、三角関数の最大や最小について考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例1) <math>0 \leq \theta &lt; 2\pi</math> のとき、次の方程式、不等式を解け。</p> <p>(1) <math>\sin\left(2\theta - \frac{\pi}{6}\right) = \frac{\sqrt{3}}{2}</math></p> <p>(2) <math>\cos\left(\theta + \frac{\pi}{3}\right) \leq -\frac{\sqrt{3}}{2}</math></p> <p>(例2) 次の関数の最大値、最小値を求めよ。 また、そのときの <math>\theta</math> の値を求めよ。</p> <p>(1) <math>y = -\cos^2 \theta - 4\sin \theta + 2</math> (<math>0 \leq \theta &lt; 2\pi</math>)</p> <p>(2) <math>y = \sin^2 \theta + \cos \theta + 1</math> (<math>0 \leq \theta &lt; 2\pi</math>)</p> </div> <p>・指数法則や累乗根の性質を利用して、対称式の計算や乗法公式に活用できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例1) 次の計算をせよ。ただし、<math>a &gt; 0, b &gt; 0</math> とする。  <math display="block">\left(\sqrt[3]{a} - \sqrt[3]{b}\right)\left(\sqrt[3]{a^2} + \sqrt[3]{ab} + \sqrt[3]{b^2}\right)</math></p> <p>(例2) <math>a &gt; 0</math> とする。<math>a^{\frac{1}{3}} + a^{-\frac{1}{3}} = 4</math> のとき、次の式の値を求めよ。</p> <p>(1) <math>a + a^{-1}</math></p> <p>(2) <math>a^{\frac{1}{2}} + a^{-\frac{1}{2}}</math></p> </div>

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>(イ) 指数関数とそのグラフ 指数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 対数関数 (ア) 対数 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。</p> <p>(イ) 対数関数とそのグラフ 対数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。</p>	<p>・各数の指数に合わせて累乗するなどの処理を行って、大小関係を求めることができる。</p> <p>(例) 次の数の大小関係を、不等号&lt;を用いて表せ。 <math>\sqrt{2}, \sqrt[3]{3}, \sqrt[6]{6}</math></p> <p>・文字の置き換えを行って、指数方程式や指数不等式、関数の最大値、最小値を求めることができる。</p> <p>(例1) 次の方程式、不等式を解け。 (1) <math>2 \cdot 4^{x+1} - 17 \cdot 2^x + 2 = 0</math> (2) <math>9^x - 8 \cdot 3^x - 9 &lt; 0</math></p> <p>(例2) <math>y = 4^x - 2^{x+2} + 1</math> (<math>-1 \leq x \leq 2</math>) の最大値・最小値と、そのときの <math>x</math> の値をそれぞれ求めよ。</p> <p>・対数の性質を用いて、いろいろな計算を行うことができる。</p> <p>(例1) 次の計算をせよ。 <math>(\log_2 3 + \log_4 9)(\log_3 4 + \log_9 2)</math></p> <p>(例2) <math>\log_{10} 2 = a, \log_{10} 3 = b</math> とするとき、 <math>\log_{12} 45</math> の値を <math>a, b</math> を用いて表せ。</p> <p>・複雑な対数方程式や対数不等式を解くことができる。</p> <p>(例) 次の方程式を解け。 <math>(\log_3 x)^2 - 4 \log_3 x + 3 = 0</math></p> <p>・文字の置き換えを行って、最大値、最小値を求められる。</p>

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>ア 微分の考え                      (ア) 微分係数と導関数                      微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。</p> <p>(4) 微分・積分の考え</p>	<p>(例) <math>x &gt; 0, y &gt; 0, x + 2y = 8</math> のとき、  <math>y = \log_{10} x + \log_{10} y</math> の最大値を求めよ。                      また、そのときの <math>x, y</math> の値を求めよ。</p> <p>・対数や指数の大小関係を求められる。</p> <p>(例) 次の数の大小関係を、不等号 <math>&lt;</math> を用いて表せ。  <math>\log_2 7, \log_4 55, 3</math></p> <p>・常用対数を活用できる。</p> <p>(例) <math>6^{50}</math> は何桁の数か。                      また、最高位の数は何か。ただし、  <math>\log_{10} 2 = 0.3010, \log_{10} 3 = 0.4771</math> とする。</p> <p>・瞬間の速さなどの具体的な事象の考察において、平均変化率や極限の考えを利用して考察することができる。</p> <p>(例) 真下に落下する物体の <math>t</math> 秒後の落下距離 <math>h(t)</math> は <math>h(t) = 4.9t^2</math> で表される。このとき、次の間に答えよ。                      (1) 2 秒後から <math>2 + h</math> 秒後までの平均の速さを求めよ。                      (2) 2 秒後の瞬間の速さを求めよ。</p> <p>・2 曲線が交わらない場合の共通接線を求めたり、2 曲線が接するための条件を理解する。</p> <p>(例) 2 つの放物線 <math>y = x^2</math> と <math>y = -x^2 + 6x - 5</math> の共通接線の方程式を求めよ。</p>

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>(イ) 導関数の応用            導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくこと。また、微分の考えを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 積分の考え            (ア) 不定積分と定積分            不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分を求めること</p>	<p>・2次や3次の関数について、区間が文字を使って表されている場合について最大値や最小値を考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) <math>a &gt; 0</math> とする。関数 <math>y = x^3 - 3x^2 + 1</math> の <math>0 \leq x \leq a</math> における最大値・最小値を求めよ。</p> </div> <p>・具体的な事象の考察を微分の考え方をを用いることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 半径が3の球に内接する直円錐のうちで、体積が最も大きいものの底面の半径、高さ、及びそのときの体積を求めよ。</p> </div> <p>・3次関数の極値をもつ条件や極値をもたない条件について理解できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 関数 <math>f(x) = x^3 + x^2 + ax - 1</math> が極値をもたないための必要十分条件を答えよ。</p> </div> <p>・定数項に文字定数を含む3次方程式の実数解の個数について、曲線と直線の共有点を考えることによって考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 3次方程式 <math>x^3 - 12x + 5 - a = 0</math> が、異なる2個の正の解と1個の負の解をもつとき、定数 <math>a</math> の値の範囲を求めよ。</p> </div> <p>・定積分の値が定数になることを利用して、積分方程式を解くことができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 等式 <math>f(x) = 3x^2 + \int_{-1}^1 f(t)dt</math> を満たす関数 <math>f(x)</math> を求めよ。</p> </div>

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>(イ) 面積 定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放物線や直線で囲まれた複雑な形の面積を求めることができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 放物線 <math>y = x^2 - 2x + 4</math> に原点 <math>O</math> から2本の接線を引くとき、放物線と2本の接線で囲まれた部分の面積 <math>S</math> を求めよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絶対値を含む関数や3次関数といった様々な関数についても、それらのグラフで囲まれた部分の面積を求めることができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例1) <math>y = x(x+1)(x-1)</math> と <math>x</math> 軸で囲まれた部分の面積の和を求めなさい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例2) 関数 <math>y =  x^2 - 1 </math>, <math>x</math> 軸, 直線 <math>x = 2</math> で囲まれた図形の面積を求めよ。</p> </div>

学習指導要領		スタンダード「基礎」
<p>(1) 物体の運動とエネルギー</p> <p>ア 運動の表し方</p> <p>(ア) 物理量の測定と扱い方 身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解すること。</p> <p>(イ) 運動の表し方 物体の運動の基本的な表し方について、直線運動を中心に理解すること。</p> <p>(ウ) 直線運動の加速度 物体が直線上を運動する場合の加速度を理解すること。</p> <p>イ 様々な力とその働き</p> <p>(ア) 様々な力 物体に様々な力が働くことを理解すること。</p> <p>(イ) 力のつり合い 物体に働く力のつり合いを理解すること。</p> <p>(ウ) 運動の法則 運動の三法則を理解すること。</p> <p>(エ) 物体の落下運動 物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動の関係について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <math>10^n</math>を表すk (キロ) やm (ミリ) などの代表的な接頭語を使用できる。</li> <li>• 物理量の単位は、基本単位を組み合わせてできる組立単位であることを知る。</li> <li>• 定義に基づき速度を理解し、<math>x-t</math> グラフから、速度の大小及び正負を判断できる。</li> <li>• 日常の事象を基に、直線上の合成速度、相対速度について知る。</li> <li>• <math>v-t</math> グラフから速度の増減を認識し、加速度の大小及び正負を判断できる。</li> <li>• 重力、垂直抗力、張力、摩擦力（静止摩擦力・動摩擦力）、弾性力及び浮力がどのような力であるかを知り、それぞれを図を用いて表現できる。また、重力や弾性力については、それぞれの大きさが計算できる。</li> <li>• 力の合成、分解の作図ができる。また、力がつり合っている場合、力のベクトル和が0になることを理解する。</li> <li>• 二つの力学台車による衝突実験などから、力が働くときには二つの物体が互いに力を及ぼし合っていることを知る。</li> <li>• 慣性の法則に関連した現象を、日常生活から挙げることができる。</li> <li>• 加速度の大きさは加えた力の大きさに比例し、物体の質量に反比例することを理解する。</li> <li>• 自由落下の運動の公式を用いて、1秒ごとの落下速度や距離が計算でき、空気中の落下における空気抵抗の影響について知る。</li> <li>• 鉛直投射などを通して、重力加速度の向きは常に下向きであることについて知る。</li> </ul>	

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>ウ 力学的エネルギー                      (ア) 運動エネルギーと位置エネルギー                      運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解すること。</p> <p>(イ) 力学的エネルギーの保存                      力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解すること。</p> <p>(2) ア 熱                      (ア) 熱と温度                      熱と温度について、原子や分子の熱運動という視点から理解すること。</p> <p>(イ) 熱の利用                      熱の移動及び熱と仕事の変換について理解すること。</p> <p>イ 波                      (ア) 波の性質                      波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解すること。</p> <p>(イ) 音と振動                      気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 仕事の定義を理解し、力の向きと物体の移動の向きが同じである場合や逆の場合、垂直の場合の仕事进行計算できる。</li> <li>• 単位時間当たりの仕事の仕事率であることを、単位を含めて理解する。</li> <li>• 仕事をする能力をもった物体はエネルギーをもつことを理解し、エネルギーの変化量と仕事との関係について知り、運動エネルギーや重力による位置エネルギーを、公式を用いて計算できる。</li> <li>• 力学的エネルギーは位置エネルギーと運動エネルギーの和であることについて理解する。</li> <li>• 力学的エネルギーの保存（運動エネルギーと重力による位置エネルギー）に関する計算ができる。</li> <li>• 絶対温度とセ氏温度との換算ができ、物質の三態が温度によって変化することを知る。</li> <li>• 熱の出入りと温度変化の関係を理解し、比熱、熱容量、潜熱について知る。</li> <li>• 熱に関する現象が不可逆変化であること、熱はエネルギーであり、仕事は熱に、熱の一部が仕事に移り変わることについて知る。</li> <li>• <math>y-x</math> グラフで振幅や波長を読み取ることができ、進行する正弦波において、速さ・周期・振動数・波長の関係を知り、縦波と横波の違いについて理解する。</li> <li>• 実験を通して波の独立性について理解し、三角波などの簡単な波の重ね合わせを作図できる。</li> <li>• 進行波と定在波の違いや、弦の定在波などから、定在波には腹と節があることを知る。</li> </ul>

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>ウ 電気                      (ア) 物質と電気抵抗                      物質によって抵抗率が異なることを理解すること。</p> <p>エ エネルギーとその利用                      (ア) エネルギーとその利用                      人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な視点から理解すること。</p> <p>オ 物理学が拓く世界                      (ア) 物理学が拓く世界                      「物理基礎」で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結び付いていることを理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オシロスコープなどを用いて音の三要素を知り、大きさと振幅、高さや振動数の関係について理解する。また、共鳴や共振、うなりについて知る。</li> <li>・弦の振動や気柱による共鳴が定在波であり、弦や管の長さにより音の高さが変化することを理解する。また、空気中の音の速さと温度との関係を理解する。</li> <li>・具体的な物質の例から導体と不導体の違いについて理解し、抵抗値が物質の種類、抵抗の長さ、断面積に関係すること及び電流が自由電子の流れによることを知る。</li> <li>・電気エネルギーを得るために利用している自然界のエネルギー源について知る。</li> <li>・放射能と放射線の意味、放射線量の単位について知る。</li> <li>・霧箱で放射線の軌跡を観察できることを知る。</li> <li>・物理学の成果や応用が日常生活や社会で利用されていることについて、例えばX線はレントゲン撮影に利用されていることを知る。</li> </ul>



学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
<p>(1) 化学と人間生活</p> <p>ア 化学と人間生活とのかかわり</p> <p>(ア) 人間生活の中の化学</p> <p>日常生活や社会を支える物質の利用とその製造の例を通して、化学に対する興味・関心を高めること。</p> <p>(イ) 化学とその役割</p> <p>日常生活や社会において物質が適切に使用されている例を通して、化学が果たしている役割を理解すること。</p> <p>イ 物質の探究</p> <p>(ア) 単体・化合物・混合物</p> <p>物質の分離・精製や元素の確認などの実験を通して、単体、化合物及び混合物について理解するとともに、実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付けること。</p> <p>(イ) 熱運動と物質の三態</p> <p>粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金属やプラスチックは、それらの特性を生かして加工され利用されていることを理解する。</li> <li>・使用済みの金属やプラスチックが、回収後、再利用されるまでの過程を理解する。</li> <li>・洗剤の成分と化学的な働きについて理解する。</li> <li>・洗剤の使用量に適切な量があることの理由を理解する。</li> <li>・ろ過、蒸留、抽出、再結晶及びクロマトグラフィーの特性を理解し、それぞれどんな混合物を分離するのに適しているか、具体例を挙げて説明することができる。</li> <li>・混合物を分離する実験を観察し、基本操作を理解する。</li> <li>・元素を検出する幾つかの方法を、具体例を挙げて説明できる。</li> <li>・身の回りの物質を、単体・化合物・混合物に分類することができる。</li> <li>・同素体とは何かを理解し、代表的な元素の同素体の名称を挙げるができる。</li> <li>・物質を構成する粒子は熱運動しており、温度が高くなると熱運動が激しくなることを理解する。</li> <li>・物質の状態は、粒子の熱運動及び粒子間に働く力の大小で決まることを理解する。</li> <li>・物理変化と化学変化の違いについて、具体例を挙げて説明できる。</li> <li>・気体分子のエネルギーには一定の分布が存在することを知る。</li> <li>・絶対零度と熱運動との関係を理解し、絶対温度について説明できる。</li> </ul>	

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
(2) 物質の構成	<p>ア 物質の構成粒子 (ア) 原子の構造 原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解すること。</p> <p>(イ) 電子配置と周期表 元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解すること。</p> <p>イ 物質と化学結合 (ア) イオンとイオン結合 イオンの生成を電子配置と関連付けて理解すること。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解すること。</p> <p>(イ) 金属と金属結合 金属結合及び金属の性質を理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子と原子核の大きさを適切に表現できる。</li> <li>・陽子・中性子・電子の電荷及びそれらの質量比について理解する。</li> <li>・原子番号や質量数から陽子・中性子・電子の数を求めることができる。</li> <li>・放射性同位体の日常生活における利用例について知る。</li>   <li>・原子番号20までの元素記号と、Ti、Cr、Mn、Fe、Cu、Br、Ag、I、Au、Hgなどのその他重要な元素の元素記号が書ける。</li> <li>・電子殻について理解し、原子番号 20 までの原子の電子配置を、電子殻を用いて表現できる。</li> <li>・希ガスが安定な電子配置であることを理解する。</li> <li>・元素の性質が価電子数と関連していることを理解する。</li> <li>・イオン化エネルギーなどの元素の周期律と価電子数の変化との関係を理解する。</li> <li>・周期表(族・周期)について理解し、典型元素の1、2、17、18 族の同族元素の性質が類似していることを電子配置から理解する。</li>   <li>・単原子イオンの電子配置を適切に表現し、同じ電子配置の希ガス名称を答えることができる。</li> <li>・物質名を見て組成式を作ることができる。</li> <li>・イオン結晶の性質を理解する。</li> <li>・代表的なイオン結晶の名前とその用途を挙げることができる。</li>   <li>・自由電子は、価電子が原子に共有されたものであることを理解する。</li> <li>・金属の電気伝導性・熱伝導性・展性・延性等の性質は、自由電子が関係していることを理解する。</li> <li>・代表的な合金の成分元素について知る。</li> </ul>

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
(3) 物質の変化	<p>(ウ) 分子と共有結合 共有結合を電子配置と関連付けて理解すること。また、分子からなる物質の性質を理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子式と構造式を使って、分子を表現できる。</li> <li>・価電子と、共有電子対・非共有電子対について理解する。</li> <li>・<math>\text{NH}_4^+</math> を例として配位結合ができる仕組みを理解する。</li> <li>・電気陰性度と分子の形から分子の極性の有無を判断できる。</li> <li>・代表的な共有結合の結晶及び高分子化合物の高分子化合物の構造と用途を知る。</li> </ul>
	<p>ア 物質質量と化学反応式 (ア) 物質質量 物質質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相対質量と原子量から存在比を求めることができる。</li> <li>・物質質量、物質中の粒子数、質量の関係を理解し、換算ができる。</li> <li>・気体の密度から、気体の分子量・質量・体積等を求めることができる。</li> <li>・溶質の質量と溶液の質量から重量パーセント濃度を求めることができる。溶質の質量と溶液の体積からモル濃度を求めることができる。</li> </ul>
	<p>イ 化学反応式 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解すること。</p> <p>イ 化学反応 (ア) 酸・塩基と中和 酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反応物が与えられているとき、化学反応式を書くことができる。</li> <li>・化学反応式から、反応に関与する物質質量・分子の数・物質の質量・物質の体積を求めることができる。</li> <li>・酸と塩基の定義（アレニウス）を理解する。</li> <li>・酸と塩基の定義（ブレンステッド・ローリー）を理解する。</li> <li>・酸と塩基の強弱と電離度の大小の関係について説明できる。</li> <li>・強酸及び強塩基の水溶液の水素イオン濃度を求めることができる。</li> <li>・中和反応とは何かを説明することができる。</li> <li>・塩の組成式から、元の酸と塩基の化学式を書くことができ、それらの塩の水溶液の性質について説明することができる。</li> <li>・水溶液以外でも中和反応の量的関係が計算できる。酸</li> </ul>

学習指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>(イ) 酸化と還元 酸化と還元が電子の授受によることを理解すること。また、酸化還元反応と日常生活や社会とのかかわりについて理解すること。</p>	<p>と塩基の組み合わせから、中和滴定曲線や指示薬を選ぶことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酸化と還元のそれぞれを電子の授受により説明できる。</li> <li>・酸化還元反応の化学反応式を見て、酸化数の変化から酸化か、還元かを判断することができる。</li> <li>・酸化剤、還元剤について理解し、化学反応式から、酸化剤、還元剤として働いているそれぞれの物質を判断できる。</li> </ul>

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
(1)	<p>ア 生物の特徴</p> <p>(ア) 生物の共通性と多様性 生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解すること。</p> <p>(イ) 細胞とエネルギー 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解すること。</p> <p>イ 遺伝子とその働き</p> <p>(ア) 遺伝情報とDNA 遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解すること。</p> <p>(イ) 遺伝情報の分配 DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解すること。</p> <p>(ウ) 遺伝情報とタンパク質の合成 DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の共通性は共通の祖先から進化してきたことに由来することを理解し、生物の共通性について具体的に説明できる。</li> <li>・原核生物と真核生物の違いについて説明できる。</li> <li>・細胞小器官の構造を図示することができ、それぞれの働きについて説明できる。</li> <li>・ATPとADPの関係と、生体内でのATPの働きについて具体的に説明できる。</li> <li>・代謝における酵素の役割について、その性質と触媒としてのはたらきを説明できる。</li> <li>・呼吸・光合成におけるATP合成の仕組みを理解し、呼吸と光合成の共通点と相違点について説明できる。</li> <li>・共生説の根拠について、具体例を挙げて説明できる。</li>   <li>・DNAのどの部分が遺伝情報になるのか、DNAの構造に基づいて説明できる。</li> <li>・DNAの構造を模式的に示し、遺伝情報を担い得る特徴について説明できる。</li> <li>・ゲノム分析によりどのようなことが分かったのか説明できる。</li> <li>・細胞周期はDNAの複製と分配の繰り返しであり、塩基の相補性を利用して、DNAの正確な複製が行われることを理解する。</li> <li>・遺伝子、DNA、染色体の違いを説明できる。</li> <li>・体細胞分裂に伴って、1細胞中のDNA量がどのように変化するか、染色体の動きから説明できる。</li> <li>・DNAからタンパク質が合成される仕組みについて、転写と翻訳の内容に触れて説明できる。</li> <li>・タンパク質の構造及び生体内のタンパク質の例とその働きについて説明できる。</li> <li>・酵素のはたらきしくみを、タンパク質の立体構造と関連させて説明できる。</li> <li>・細胞のもつ遺伝子は同一だが、細胞によって特定の遺伝子が発現することを、具体的な例をあげて説明できる。</li> </ul>
(2)	<p>ア 生物の体内環境</p>	

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
<p>生物の体内環境の維持</p>	<p>(ア) 体内環境 体内環境が保たれていることを理解すること。</p> <p>(イ) 体内環境の維持の仕組み 体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解すること。</p> <p>(ウ) 免疫 免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血液・リンパ液・組織液相互の関係について説明できる。</li> <li>・ホメオスタシスを維持するための器官を挙げ、体内環境を一定に保つ仕組みを説明できる。</li> <li>・ヘモグロビンによる酸素の運搬のしくみを説明できる。また、酸素解離曲線の意味を理解し、使えるようになる。</li> <li>・体循環と肺循環について説明できる。</li> <li>・肝臓の機能を具体的に挙げることができる。また、腎臓の機能について、その構造を関連させて説明できる。</li> <li>・血液凝固に関わる血中成分を挙げ、凝固の経路と線溶について説明できる。</li> <li>・自律神経の働きについて、器官へ作用の具体例を挙げて説明できる。</li> <li>・ホルモンのフィードバック調節について具体例を挙げて説明できる。</li> <li>・血糖濃度の調節の仕組みや糖尿病が発症する仕組みを、自律神経名やホルモン名を挙げて説明できる。</li> <li>・自然免疫と獲得免疫の特性の違いについて説明できる。</li> <li>・体液性免疫と細胞性免疫の仕組みについて、免疫に関わる細胞名を挙げて説明できる。</li> <li>・予防接種と血清療法のしくみについて説明できる。</li> <li>・アレルギーが生じる仕組み、エイズが発症する仕組みについて説明できる。</li> </ul>
<p>(3) 生</p>	<p>ア 植生の多様性と分布 (ア) 植生と遷移</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植生の違いは、環境要因の違いによることを理</li> </ul>

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
<p>物の多様性と生態系</p>	<p>陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解すること。</p> <p>(イ) 気候とバイオーム 気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解すること。</p> <p>イ 生態系とその保全 (ア) 生態系と物質循環 生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解すること。</p> <p>(イ) 生態系のバランスと保全 生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識すること。</p>	<p>解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遷移の過程を、植物の光合成特性や生物による環境形成作用に基づいて説明できる。</li> <li>・ ギャップ更新の意味と、その重要性を説明できる。</li> </ul> <p>・ どのような気温と降水量の地域に、どのようなバイオームが成立しているかを、生物種とともに説明できる。また、気候の変化に伴いバイオームは変化していくことを理解する。</p> <p>・ 日本のバイオームの垂直分布と水平分布について代表的な生物種とともに説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 硝化、窒素固定、脱窒作用を具体的な生物名とともに説明できる。</li> <li>・ 生態系では物質の移動に伴って、光エネルギー・化学エネルギー・熱エネルギーの変換が行われていることを説明できる。</li> </ul> <p>・ 生態系のバランスを維持する仕組みがあることを具体例を挙げて説明できる。</p> <p>・ 生物の多様性が損なわれた具体的な例を知り、科学的なデータや根拠を基に生態系の保全の重要性を理解する。</p>

学習指導要領		昭和高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返しや説明を求めたり、言い換えて確認したりするなどして、相手の話を聞こうとし続けることができる。</li> <li>・聞き取れない単語や未知の語句があっても、例示・列挙・対比・因果関係などの <b>discourse marker</b> に注意しながら、話の流れの方向性を推測して聞き続けることができる。</li> <li>・事物に対する紹介や対話などを聞いて、メモを取るなどして情報を整理したり、展開を予想したりするなどして、聞き続けることができる。</li> <li>・複数の段落のまとまった長さの文章について、情報や考え、事実と意見を区別し、整理しながら聞くことができる。</li> <li>・ALTなどの英語による説明や意見を聞いて理解することができる。</li> <li>・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。</li> <li>・リズムやイントネーションなどに表れる話し手の意図や気持ちを捉え、つながる音や消える音に注意して聞くことができる。</li> <li>・英語を使用する人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。</li> </ul>
読むこと	イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自発的に英和辞典を活用しながら、400 語程度以上の教科書の文章を読んで、概要や要点を捉えることができる。</li> <li>・教科書の文章を読み、文中に未知の語句があっても、論理展開を考えて読み続けることができる。</li> <li>・教科書の文章中の単語の発音、及び文章のリズムやイントネーションに気を付けて、聞き手に的確に伝わるように明瞭に音読することができる。</li> <li>・教科書の文章全体を、適切な速度と音量で音読することができる。</li> <li>・教科書の文章を読んで、<b>discourse marker</b> に注意しながら、英語の論理展開を理解する。</li> <li>・教科書及びサイドリーダーなどの文章を読んで、</li> </ul>



学習指導要領		昭和高校 学カスタンダード
話すこと	<p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p>	<p>事実と意見を区別して内容を理解し、自身の意見や感想を抽象的なことから具体的なことの順番で、英語らしい順序で表現することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の文章の段落の中で、topic sentence と supporting sentence との関係を理解し、各段落の役割と文章全体の流れを理解する。</li> <li>・英語を使用する人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。</li> <li>・英字新聞やインターネットを活用し、必要な情報を読み取ることができる。</li> <li>・1年間に、サイドリーダーを6冊程度読む。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・400語程度以上の教科書の文章の内容を理解した後、英語の質問を聞いて、根拠を示しながら文章で答えることができる。</li> <li>・教科書で扱った内容について、既習の語句や表現を応用して、ワークシートやメモなどを活用しながら、その概要を英語で相手に伝えることができる。</li> <li>・ペアやグループで、幅広い話題について、学んだことや経験したことに基づき、根拠を示しながら話し合ったり意見を交換したりすることができる。</li> <li>・うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を効果的に用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。</li> <li>・単語の発音に気を付けながら、場面や状況、相手の反応などを踏まえて、適切なリズムやイントネーションを用い、十分な声の大きさ、適切な速度で積極的に話すことができる。</li> <li>・話し合いや発表で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。</li> <li>・新聞記事やニュースなどの情報に基づき、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。</li> <li>・事実と意見を区別して、既習の表現を効果的に用いて論理的に話すことができる。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣</li> </ul>

学習指導要領		昭和高校 学カスタンダード
書くこと	エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。	<p>など、「話すこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の語句や表現、文法事項を活用して、間違うことを恐れずに、学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について 80 語程度の文章を書くことができる。</li> <li>・教科書の文章について、80 語程度の要約文を書くことができる。</li> <li>・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、80 語程度で感想や意見を述べることができる。</li> <li>・topic sentence と supporting sentence の構成を考え、つながりを示す語句を適切に用いながら、論理の展開が明確な文章を書くことができる。</li> <li>・事実と意見などを区別して、既習の表現を適切に用いて論理的に書くことができる。</li> <li>・自分で書いた文章を読み直し、表現の曖昧さをなくしたり、語句や文法などの誤りを正したりして、論点が明確で、読み手に分かりやすい文章を書くことができる。</li> <li>・うまく表現できないことがあっても、既習の語句や表現を効果的に用いて書くことができる。</li> <li>・必要に応じて英和辞書などを活用して書く。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。</li> </ul>

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いたことに対して、情報を整理して確認したり、追加の説明を求めたりするなど、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。</li> <li>・聞き取れない単語や未知の語句や表現があっても、キーワードやトピック・センテンスを的確に把握して内容を理解し、その後の展開を予想して聞き続けることができる。</li> <li>・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図や立場を把握し、様々な状況や自分の考えを考慮しながら質問や指示などに適切に応じることができる。</li> <li>・リズムやイントネーションなどに表れる話し手の意図や気持ちを捉え、キーワードやトピック・センテンスを的確に把握し、その後の内容の展開を予想して聞くことができる。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する</li> </ul>
読むこと	イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて英和辞典や英英辞典を活用しながら、700語程度以上の教科書の説明、評論、物語、随筆などを読んで、事実や書き手の意見や考えを正確に捉え、書かれている内容について自分の考えをもつことができる。</li> <li>・教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、文脈や、文法及び構文についての知識を用いて推測したり、背景となる知識を活用したりして読み続けることができる。</li> <li>・教科書の文章などの単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに注意して、適切な速度と音量で、書き手の伝えたいことなどが聞き手に的確に伝わるように明瞭に音読することができる。</li> <li>・概要や要点を把握するために速読したり、詳細を理解するために精読したりするなど、目的に応じた読み方ができる。</li> <li>・教科書の文章について、文と文のつながりや段落の構成、段落間の関連などを考えて読み進めることで、文章全体の流れを理解することができる。</li> <li>・専門的な情報（例えば経済・環境・文化などに関するもの）や、統計的なデータ（例えば意識調査や実験結</li> </ul>

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
話すこと	ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。	<p>果など) が示されている図表と文章全体におけるその図表の役割を的確に読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。</li> <li>教科書で扱った内容について、既習の語句や表現を応用して、その概要を論理的に英語で相手に伝えることができる。</li> <li>うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を効果的に用いたり、具体例を挙げたりして、情報や考えを相手に的確に伝えることができる。</li> <li>単語の発音に気を付けながら、場面や状況、相手の反応などを踏まえて、自分の意図や気持ちに合わせて適切なリズムやイントネーションを用い、十分な声の大きさ、適切な速度で積極的に話すことができる。</li> <li>聞き手を意識し、相手に分かりやすく説得力のある表現を選んで話すことができる。</li> <li>他の生徒が話した内容や話し方について、聞き手にとって更に効果的な伝え方を助言することができる。</li> <li>英語を使用している人々の日常生活・風俗習慣など、「話すこと」の言語活動を活性化させるために必要な文化的背景について深く理解することができる。</li> </ul>
書くこと	エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について書く目的を明確に設定して、100語程度の文章を書くことができる。</li> <li>教科書の文章について、パート毎ごとに、複数の段落からなる要約文を書くことができる。</li> <li>トピック・センテンスやサポーターティング・センテンスの構成を考え、内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句を適切に用いながら、論理の一貫性がある複数の段落からなる文章を書くことができる。</li> <li>文章を書く前に、自分の考えや関連する情報などを整理して、全体の構成を考えることができる。</li> <li>自分で書いた文章を読み直し、表現の曖昧さをなくしたり、他の生徒や教師の意見を参考にしたりしながら読み手に伝わりやすく効果的な表現を用いた文章を</li> </ul>

学習指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
	<p>書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・必要に応じて英和辞書、和英辞書や英英辞書などを積極的に活用して書く。</li><li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。</li></ul>

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
(序) 私 た ち の 時 代 と 歴 史	現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。	近現代の歴史事象と現在との関連を考察するための、資料活用の方法、技能、態度を身につけ、様々な観点から歴史を考察し説明できる。
(1) 近 代 の 日 本 と 世 界	<p>開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察させる。</p> <p>ア 近代国家の形成と国際関係の推移                      (ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や分化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。</p>	<p>世界史との関連性を意識しながら、政治にとどまらず幅広い分野からその時代を考察し、説明できる。</p> <p>欧米列強の進出によるアジアの国際情勢の変容、欧米列強の接近に対し幕府や諸藩、様々な立場の人々がどのような反応をし、どのような改革を試みたかを、時間の推移と状況の変化のなかで説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幕府諸藩の改革</li> <li>・ 江戸時代後半の学問・思想</li> <li>・ 国内状況・対外情勢への対応</li> <li>・ 開国による幕政の変化</li> <li>・ 国際社会に組み込まれた日本社会の変化</li> <li>・ 新たな政権の成立過程と近代化政策</li> <li>・ 初期の外交、国境の確定</li> <li>・ 民権運動と政府の対応</li> <li>・ 政府の財政政策と国民生活の変化</li> <li>・ 大日本帝国憲法の特徴とそれに基づく政治体制</li> </ul> <p>を主要な観点とし、日本の近代化がどのような特徴を持っているかを、世界史やアジア諸国との関連のなかで説明できる。</p>

学習指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>(イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に注目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。</p> <p>イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢                      (ア) 産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察させる。</p>	<p>国際情勢の変化の中で、日本のアジア外交がどのような意図の下で進められていくかを、対外関係・国内情勢との関連で説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会制度の進展</li> <li>・ 朝鮮をめぐる内外情勢と日清戦争</li> <li>・ 中国をめぐるアジア情勢の変化</li> <li>・ 日露戦争と戦後の植民地統治</li> <li>・ 戦後の社会情勢の変化</li> </ul> <p>を主要な観点とし、急速な近代化の中で、日清日露戦争が国際関係の中で日本の立場をどう変化させたか、また政治・経済のどのような変化をともなったかを説明できる。</p> <p>政府主導の急速な近代化の特徴と、国民生活・社会の変化、近代的な思想・学問の発展の様子を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本における産業革命</li> <li>・ 経済の発展と国民生活の変化</li> <li>・ 大衆社会の出現と学問・文化</li> </ul> <p>を主要な観点とし、現代につながる産業社会・大衆文化の萌芽・成長の過程を説明できる。現代との関わりという点で主体的な問題意識を持ち、思考したことを他者に説明できる。</p>

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
<p>(2) 大戦期の世界と日本</p>	<p>(イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。</p> <p>ウ 近代の追究 近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を育てる。</p>	<p>現代社会の形成に密接に関わる両大戦が、いかなる原因で、どのような過程をおって勃発することになったか、世界史との関連に留意しつつ、アジア情勢の変化や日本の国内情勢の変容とともに考察し、説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欧州における大戦と日本の対外政策</li> <li>・ 日本の対外政策の変容</li> <li>・ 20年代の恐慌と日本の対応、世界の状況</li> <li>・ 大陸進出の始まりと国内の政治情勢</li> <li>・ 日中戦争本格化と国内外の動向</li> <li>・ 太平洋戦争の勃発と経過、アジア政策</li> </ul> <p>を主要な観点とし、アジアとの関係、ヨーロッパ諸国との関係、アメリカとの関係、日本の国内状況を説明できる。</p> <p>近代の歴史が現代の生活と深く関わっていることを学び、身近な問題として、主体的に考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業の発展</li> <li>・ 国際状況が国民に与える影響</li> <li>・ 身近な地域社会の変容</li> </ul> <p>を主要な観点とし、近代の様々な分野について各自が設定した主題について主体的に学び、その成果を他者に説明できる。</p>
<p>(3) 現代の日本と世界</p>	<p>第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、現代の諸課題と現代の歴史との関連を重視して考察させる。</p> <p>ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p>	<p>日本の急速な近代化が両大戦を経て挫折し、新しい国際社会の枠組みの中で国家の再建が始まったことを、占領下の改革の特徴のその変容を含めて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 占領政策と新憲法の制定</li> <li>・ 冷戦の影響と日本</li> </ul> <p>を主要な観点として、政治制度や国際環境の激変とそれに対する対応を、現代の諸問題と関わらせながら説明できる。</p>



学習指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ 現代からの探究 現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身につけさせる。 内容の(2)のウ及び(3)のウについては、資料を活用して歴史を考察したり、その結果を表現したりする技能を高めること。</p>	<p>占領期以降のわが国の歩みを、政治・経済・社会・国際情勢など多様な視点から説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦後の政治状況と国際情勢</li> <li>・ 戦後経済の歩みと国民生活・意識の変化</li> <li>・ 高度経済成長以降の政治経済の変化と冷戦の終結</li> <li>・ 「失われた10年(20年)」と55年体制の崩壊</li> <li>・ 2000年代の日本と世界</li> </ul> <p>を主要な観点として、より広い視野をもって将来への考察を行い、考えたことを他者に説明できる。</p> <p>各自の興味・関心に応じて探究主題を設定し、これまでの授業で身につけた資料活用力や表現力を活かしつつ、現代が抱える問題について、過去にさかのぼって歴史的に捉えた結果を踏まえて解決の方策を考察し、その考えを他者に説明できる。</p>

